

宮崎港

宮崎港の概要

- ◎所在地 宮崎市
 - ◎港湾区域告示 昭和38年6月
 - ◎港湾区域面積 1,983ha
 - ◎重要港湾指定 昭和48年4月
 - ◎入港船舶数 (R1) 3,409隻
 - ◎入港船舶総トン数(R1) 5,586千ト
 - ◎取扱貨物量 (R1) 7,195千ト
- ※ R1は速報値

県都宮崎市に位置する宮崎港は、内貿貨物を中心に取扱貨物量が県内一を誇る港です。戦後、高度経済成長により宮崎市の経済・文化が発展するに伴い港湾整備が強く望まれた宮崎港は、昭和48年4月に重要港湾の指定を受け、以後、本格的な港湾整備を進めてきました。本港は南九州における物流拠点の内貿ユニットロードに対応できる岸壁の整備、流通機能の充実および海洋性リゾートの核となる21世紀の港づくりを目指していきます。

●宮崎港からの定期航路ネットワーク



●係留施設（公共）

	地区名	施設名	水深(m)	延長(m)	船型(D／W)	バース数
既設	西	①第1岸壁	-4.5	120	700	2
		②第2岸壁	-5.5	270	2,000	3
		⑤第5岸壁	-7.5	260	5,000	2
		⑦第7岸壁	-7.5	194	6,000(GT)	1
		⑩第10岸壁	-9.0	198	10,000(GT)	1
	東	⑪第11岸壁	-9.0	300	50,000(GT)	1
		⑥第6岸壁	-4.5	420	700	7
		⑨第9岸壁	-5.5	400	2,000	4
		⑫第12岸壁	-7.5	390	5,000	3
		⑬第13岸壁	-9.0	210	10,000	1
計画	東	⑭第14岸壁	-9.0	160	10,000	1
		⑮第15岸壁	-12.0	240	30,000	1
		⑯第16岸壁	-9.0	320	10,000	2

宮崎港港湾計画（平成15年3月改訂）（令和元年11月一部変更）

- 新たな外貿物流機能の強化
- 南九州地域の物流拠点として内貿ユニットロードターミナル機能の強化
- 既存ふ頭再編等によるふ頭の効率性、利便性等の向上
- 港内の静穏と船舶航行の安全性を確保
- 人々が港や海に親しめる親水空間の確保
- 背後地域との円滑な輸送体系の確保
- 漁船、遊漁船等の適切な収容を図るため小型船だまりの整備
- 安全で安心な港づくりを目指し耐震強化施設等の充実